



2023年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年5月15日

上場会社名 株式会社EduLab 上場取引所 東
 コード番号 4427 URL <https://www.edulab-inc.com>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長兼CEO (氏名) 廣實 学
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 川瀬 晴夫 TEL 03 (6625) 7710
 四半期報告書提出予定日 2023年5月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（アナリスト・機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2023年9月期第2四半期の連結業績（2022年10月1日～2023年3月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年9月期第2四半期	3,791	△15.7	△214	—	△371	—	△1,998	—
2022年9月期第2四半期	4,496	3.9	△247	—	△115	—	△1,002	—

（注）包括利益 2023年9月期第2四半期 △2,041百万円（－％） 2022年9月期第2四半期 △1,095百万円（－％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年9月期第2四半期	△197.22	—
2022年9月期第2四半期	△100.04	—

（注）「潜在株式調整後1株当たり四半期純利益」については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年9月期第2四半期	8,842	3,072	33.2
2022年9月期	12,437	5,035	39.4

（参考）自己資本 2023年9月期第2四半期 2,934百万円 2022年9月期 4,899百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年9月期	—	0.00	—	—	—
2023年9月期（予想）	—	—	—	—	—

（注）1. 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

2. 当社は定款において第2四半期末日及び期末日を配当基準日と定めておりますが、現時点では期末における配当予想額は未定であります。

3. 2023年9月期の連結業績予想（2022年10月1日～2023年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	6,750	△30.8	△850	—	△1,200	—	△3,050	—	△302.43

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社、除外 一社

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（4）発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年9月期2Q	10,228,470株	2022年9月期	10,070,470株
2023年9月期2Q	6,961株	2022年9月期	6,954株
2023年9月期2Q	10,135,571株	2022年9月期2Q	10,020,316株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会内容の入手方法）

当社は、2023年5月15日（月）にアナリスト・機関投資家向け説明会（ネットカンファレンス）を開催する予定です。この説明会の動画については、当日使用する四半期決算説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	9
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の当社グループの経営成績は、売上高3,791,549千円（前年同期比15.7%減）、営業損失214,955千円（前年同期は営業損失247,589千円）、経常損失371,540千円（前年同期は経常損失115,979千円）、親会社株主に帰属する四半期純損失1,998,914千円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失1,002,412千円）となりました。

当第2四半期連結累計期間においては、テストセンター事業、教育プラットフォーム事業、AI事業で売上が前年並みとなった一方で、テスト等ライセンス事業、テスト運営・受託事業で売上が減少したことにより、前年同期比減収となり、売上総利益は減益となりました。一方で、業務委託費の減少等により販売管理費が減少し、営業損失は前年同期比で損失幅が縮小しましたが、為替差損の発生等により経常損失は拡大しました。また、主にプラットフォーム事業及びテスト等ライセンス事業の一部の固定資産グループにおけるソフトウェア等の減損損失及び本社移転予定費用の引き当てに伴う特別損失の計上等により、親会社株主に帰属する四半期純損失は損失幅を拡大しました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりです。

① テスト等ライセンス事業

テスト等ライセンス事業においては、英語スピーキングテストのライセンス収入やオンライン英語テスト「CASEC」の売上減少等により、当該セグメントの売上高は526,380千円（前年同期比29.1%減）、セグメント利益は46,223千円（同79.9%減）となりました。

② 教育プラットフォーム事業

教育プラットフォーム事業においては、広告事業が順調に推移した一方で英語学習サービスのライセンス収入が受験者数の減少にともない売上減少となり、当該セグメントの売上高は1,103,238千円（前年同期比10.6%減）、セグメント利益は226,789千円（同32.4%減）となりました。

③ テストセンター事業

テストセンター事業においては、CBT配信受託業務における一部契約終了の影響があったものの、テストセンター利用者数が順調に増加し、当該セグメントの売上高は1,346,765千円（前年同期比1.8%増）、セグメント利益は131,791千円（同541.6%増）となりました。

④ AI事業

AI事業においては、手書き文字認識エンジン「DEEP READ」のライセンス収入が安定して推移したものの、グループ間での利用が減少し、売上高は減収となりました。費用面では、自習室事業にかかる販売管理費の減少等により利益率が改善し、当該セグメントの売上高は167,893千円（前年同期比15.9%減）、セグメント利益は59,164千円（前年同期はセグメント損失119,528千円）となりました。

⑤ テスト運営・受託事業

テスト運営・受託事業においては、前年度に単独で受託した文部科学省による全国学力・学習状況調査（小学校事業）を今年度は再委託機関として受託したこと等により、売上高は減収となった一方で、委託元とのコスト配分の最適化により利益率は改善し、当該セグメントの売上高は666,670千円（前年同期比36.5%減）、セグメント損失は4,013千円（前年同期はセグメント損失41,145千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,197,286千円減少し、7,893,911千円となりました。これは、現金及び預金771,726千円の減少、売掛金及び契約資産211,862千円の減少などによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2,397,084千円減少し、945,405千円となりました。これは、投資その他の資産が297,961千円、ソフトウェアが1,401,240千円、その他無形固定資産が245,940千円、ソフトウェア仮勘定が316,054千円減少したことなどによります。

繰延資産は、前連結会計年度末に比べて1,026千円減少し、3,177千円となりました。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて3,595,397千円減少し、8,842,495千円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,073,823千円減少し、4,344,673千円となりました。これは、短期借入金625,999千円、1年内返済予定の長期借入金99,000千円、その他流動負債が315,325千円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて559,232千円減少し、1,425,018千円となりました。これは、長期借入金507,593千円、社債が35,700千円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて1,633,056千円減少し、5,769,691千円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて1,962,340千円減少し、3,072,803千円となりました。これは、利益剰余金が1,998,888千円減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想については、2023年3月24日付「2023年9月期連結業績予想の公表に関するお知らせ」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。今後変更が生じた場合には速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,053,510	5,281,783
売掛金及び契約資産	1,591,198	1,379,335
商品	276,769	180,593
仕掛品	18,001	31,619
その他	1,151,719	1,020,580
流動資産合計	9,091,198	7,893,911
固定資産		
有形固定資産	135,887	0
無形固定資産		
ソフトウェア	1,401,240	0
ソフトウェア仮勘定	316,054	0
その他	245,940	0
無形固定資産合計	1,963,236	0
投資その他の資産	1,243,367	945,405
固定資産合計	3,342,490	945,405
繰延資産	4,203	3,177
資産合計	12,437,892	8,842,495
負債の部		
流動負債		
買掛金	292,994	495,371
短期借入金	1,538,499	912,500
1年内償還予定の社債	159,576	130,272
1年内返済予定の長期借入金	1,395,186	1,296,186
未払法人税等	12,887	8,930
契約負債	935,628	736,250
受注損失引当金	5,910	2,674
特別調査費用引当金	170,770	170,770
その他	907,044	591,719
流動負債合計	5,418,496	4,344,673
固定負債		
社債	107,300	71,600
長期借入金	1,787,017	1,279,424
事業整理損失引当金	14,000	14,000
その他	75,933	59,994
固定負債合計	1,984,250	1,425,018
負債合計	7,402,747	5,769,691

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,279,458	5,309,320
資本剰余金	5,631,620	5,661,482
利益剰余金	△5,632,335	△7,631,223
自己株式	△19,506	△19,506
株主資本合計	5,259,237	3,320,073
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,133	△26,455
為替換算調整勘定	△361,826	△358,775
その他の包括利益累計額合計	△359,693	△385,230
非支配株主持分	135,600	137,961
純資産合計	5,035,144	3,072,803
負債純資産合計	12,437,892	8,842,495

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
売上高	4,496,976	3,791,549
売上原価	3,185,031	2,622,257
売上総利益	1,311,944	1,169,291
販売費及び一般管理費	1,559,533	1,384,247
営業損失(△)	△247,589	△214,955
営業外収益		
受取利息	118	242
為替差益	68,283	—
投資有価証券売却益	183,146	—
契約解約益	12,852	68,750
その他	12,645	17,373
営業外収益合計	277,046	86,365
営業外費用		
支払利息	23,950	11,830
為替差損	—	116,026
投資事業組合管理費	77,783	88,979
持分法による投資損失	13,997	2,454
その他	29,705	23,658
営業外費用合計	145,436	242,951
経常損失(△)	△115,979	△371,540
特別利益		
事業整理損失引当金戻入額	1,688	—
固定資産売却益	—	333,644
投資有価証券評価益	—	24,580
特別利益合計	1,688	358,224
特別損失		
減損損失	435,206	1,789,678
固定資産除却損	—	63,847
投資有価証券評価損	160,960	—
特別調査費用引当金繰入額	198,790	—
上場契約違約金	48,000	—
その他	—	121,380
特別損失合計	842,957	1,974,906
税金等調整前四半期純損失(△)	△957,248	△1,988,222
法人税等	13,082	16,902
四半期純損失(△)	△970,331	△2,005,124
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	32,081	△6,210
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,002,412	△1,998,914

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年10月1日 至 2023年3月31日)
四半期純損失(△)	△970,331	△2,005,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,057	△28,796
為替換算調整勘定	△129,362	△8,055
その他の包括利益合計	△125,305	△36,852
四半期包括利益	△1,095,636	△2,041,977
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△1,141,497	△2,024,451
非支配株主に係る四半期包括利益	45,860	△17,525

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期累計期間において、新株予約権の権利行使により、資本金が29,862千円、資本剰余金が29,862千円増加しました。この結果、当第2四半期会計期間末において、資本金が5,309,320千円、資本剰余金が5,661,482千円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益または税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する会計上の見積り)

前連結会計年度の有価証券報告書において、追加情報に記載した新型コロナウイルス感染拡大の影響に関する仮定について重要な変更はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年10月1日 至 2022年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	テスト等 ライセンス 事業	教育 プラット フォーム 事業	テスト センター 事業	AI事業	テスト運営 ・受託事業	計		
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	742,069	1,234,182	1,318,903	151,149	1,050,670	4,496,976	—	4,496,976
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	742,069	1,234,182	1,318,903	151,149	1,050,670	4,496,976	—	4,496,976
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	4,485	48,383	—	52,868	△52,868	—
計	742,069	1,234,182	1,323,388	199,533	1,050,670	4,549,844	△52,868	4,496,976
セグメント利益又は 損失(△)	229,439	335,454	20,542	△119,528	△41,145	424,761	△672,350	△247,589

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に「教育プラットフォーム事業」セグメントにおいて4,506千円、「テストセンター事業」セグメントにおいて189,748千円、「AI事業」セグメントにおいて190,353千円、「テスト運営・受託事業」セグメントにおいて50,597千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自 2022年10月1日 至 2023年3月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額 (注) 1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 2
	テスト等 ライセンス 事業	教育 プラットフォーム 事業	テスト センター 事業	AI事業	テスト運営 ・受託事業	計		
売上高								
顧客との契約から生 じる収益	526,380	1,103,238	1,327,366	167,893	666,670	3,791,549	—	3,791,549
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	526,380	1,103,238	1,327,366	167,893	666,670	3,791,549	—	3,791,549
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	19,399	—	—	19,399	△19,399	—
計	526,380	1,103,238	1,346,765	167,893	666,670	3,810,948	△19,399	3,791,549
セグメント利益又は 損失 (△)	46,223	226,789	131,791	59,164	△4,013	459,955	△674,910	△214,955

(注) 1. セグメント利益又は損失 (△) の調整額は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失 (△) は四半期連結損益計算書の営業損失 (△) と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当第2四半期連結累計期間に「テスト等ライセンス事業」セグメント事業において447,312千円、「教育プラットフォーム事業」セグメントにおいて793,378千円、「テストセンター事業」セグメントにおいて12,316千円、「AI事業」セグメントにおいて114,622千円の減損損失を計上しております。

また、共用資産422,047千円の減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては1,789,678千円であります。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。